



小水力発電施設の適正管理の推進

中間農業地域

たきちょうせいわ

多気町勢和地域資源保全・活用協議会（三重県多気町）

たきちょう

- 本地域は、以前から、地区外の大学、企業が地域資源の保全活動等に支援・協力。また、研究者と連携して、本地域をフィールドとして地域資源の保全活動の調査・検証を実施。
- これらの繋がりから、地域住民、大学、企業、行政等が協力して小水力発電施設を設置し、本交付金で発電施設の除塵や点検等の維持管理を行っている。得られた電力は、米粉等の6次産業施設や、活動における施設等の点検作業に使用する電気自動車の電源として利用。
- これらにより、H26年度は、2,800kWhの電力を発電。地区の子ども538人に対し、環境学習の機会を提供。また、自然エネルギーを活用したさらなる活動の展開を模索している。

【地区概要】

- ・取組面積 700ha(田480ha、畑220ha)
- ・資源量 開水路86.6km、農道87.5km、ため池8箇所
- ・主な構成員
農業者、営農組合、自治会、改良区、学校・PTA、図書館 等
- ・交付金 約21百万円(H29)

〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

活動開始前の状況や課題

- 地区外の大学、企業が地域資源の保全活動等の支援・協力団体として参加。研究者と連携して、地域資源の保全活動の調査・検証を実施。
- 農業用水を利用した小水力発電の実証研究にも取り組み、自然エネルギーを活用した多様な活動の可能性の検討を開始。



小水力発電の候補地調査（51cm落差）

取組内容

- 農業用水路をの落差工を活用して、小水力発電施設を設置。本交付金で発電施設の除塵や点検等の維持管理を実施。
- 電力は米粉等の6次産業施設、農業用水の管理施設や獣害対策の施設の点検等に使用する電気自動車、外灯に活用。
- また、地域の小学生を対象とした環境学習にも小水力発電施設を活用。



子ども達による小水力発電のビデオレポート

取組の効果

【小水力発電の設置】（平成26年度）

- ・小水力発電の規模:400W
- ・発電量:2,800kWh/年

【環境学習の実施】（平成26年度）

- ・開催回数:年3回
- ・参加児童数:538人

- 子どもを対象に、CO₂発生抑制などの環境学習も実施。学習に参加した子ども538人の環境への関心を啓発。

- 今後、自然エネルギーを活用したさらなる活動の展開を模索。

